

従業員や
利用者の
命を守る！

事業所の防災対策

～地震対策 什器を固定しましょう～

南海トラフ地震が発生すると…

名古屋市消防局
「防災・減災」啓発キャラクター
「ジジヨ」



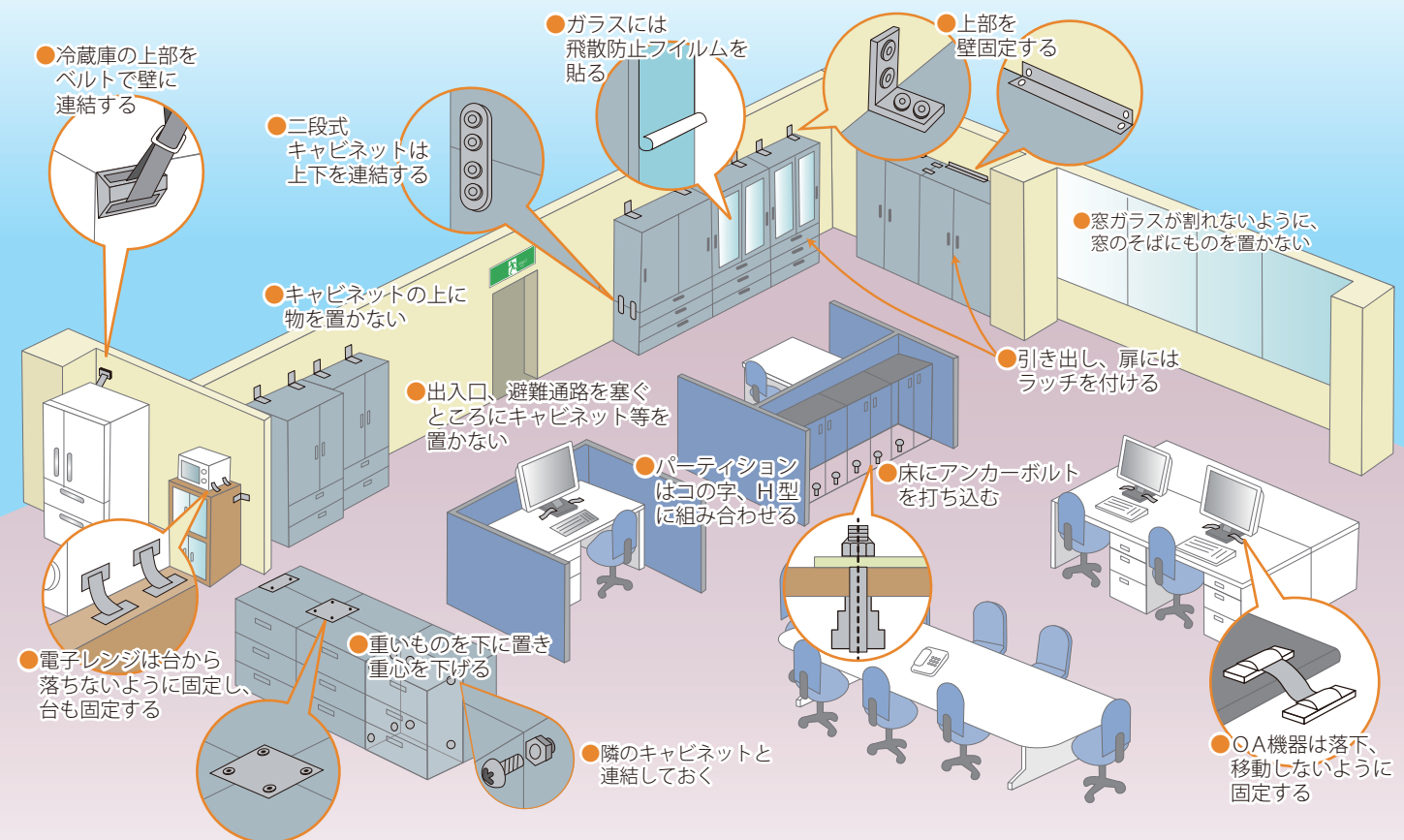
危険項目

- ① **ドア付近** キャビネットの転倒により、ドアが開かず、避難が困難となる。
- ② **通路付近** キャビネットの転倒により、避難の障害となる。
- ③ **窓付近** キャビネットが窓ガラスに衝突し、割れたガラスで地上の通行人が負傷する。
- ④ **デスク付近** デスクの下に物が置かれていると、地震発生直後に待避できない。
- ⑤ **キャビネット付近** キャビネットやパソコン等は、固定していないと、転倒・移動により思わぬ凶器となる。

事務所の什器固定

～様々な被害を想定した事前の対策が重要～

書庫・ロッカーの転倒、OA機器の落下は従業員の負傷を招くだけでなく、避難の妨げにもなります。室内で起こりうる被害をイメージし事前に備えることで、地震に強いオフィス環境を整えることが大切です。



【地域防災協力事業所表示制度】

名古屋市では、災害に備えて日頃から地域と事業所が協力関係を築くことや地域貢献を目的として、「地域防災協力事業所表示制度」を行っています。
(地域の一時的な避難場所の提供やバール、ジャッキなどの救助資器材としての提供などにご協力をお願いします)



【その他の事業所での備え】

- ・備蓄品や帰宅困難対策
- ・防災訓練の実施
- ・従業員の防災、救急に関する知識や技能教育の実施

このリーフレットの
データはこちら



地震
ハザード
マップ



津波
ハザード
マップ



洪水
ハザード
マップ



内水氾濫
ハザード
マップ



安心して働くために！

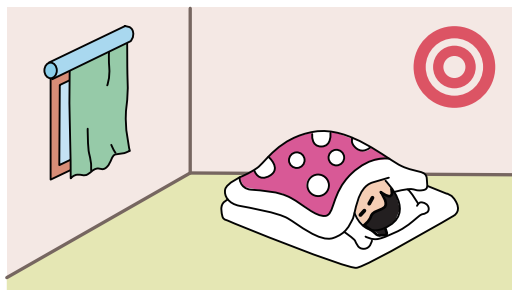
～地震から家族の命を守ろう～

従業員の家庭の防災対策

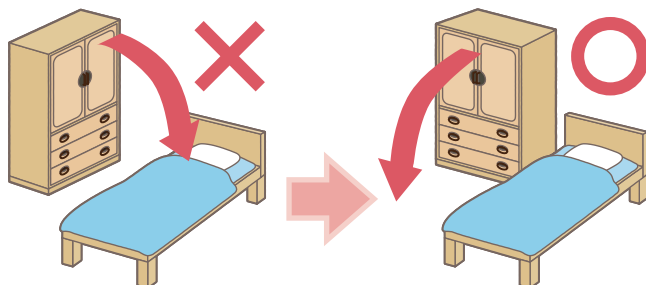
家具等の転倒防止対策

安価、かつ確実に命を守る対策です。

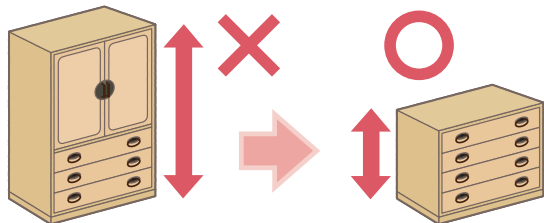
寝室を優先に家具等の配置の見直し、背の低い家具への変更や固定など、転倒防止対策を行いましょう。



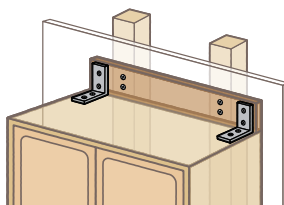
家具を置かないようにしている



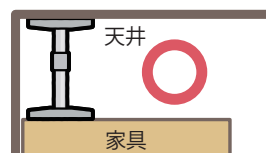
就寝場所や出入口を塞ぐ位置に倒れないような家具のレイアウトにしている



背の高い家具は置かないようにしている



家具の転倒による負傷を防ぐため、家具を固定している
※様々な家具転倒防止器具があります



壁側奥に設置

地震火災対策

火事を起こさない、起きてても小さな火のうちに消すことが重要です。

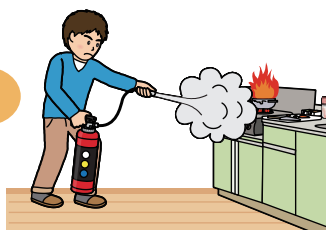
火災を早期発見、消火できるようにするため、住宅用火災警報器や住宅用消火器等を備えましょう。

住宅用火災警報器の
作動確認の方法



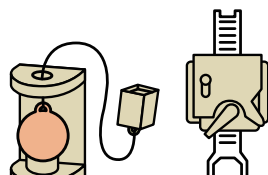
音が鳴れば正常です。

消火器等による消火



ブレーカーの
遮断

あらかじめ感震ブレーカーを設置



感震ブレーカーの種類(例)

火の元
確認



揺れがおさまったら！

《感震ブレーカー設置の留意事項》

感震ブレーカーを設置した場合、機器の作動により人工呼吸器等の医療機器や避難用照明、情報収集用のテレビなどが使用できなくなるおそれがあります。それらの点を踏まえ、住環境に合ったものを設置するようにしましょう。

千種消防署	764-0119	東消防署	935-0119	北消防署	981-0119	西消防署	521-0119
中村消防署	481-0119	中消防署	231-0119	昭和消防署	841-0119	瑞穂消防署	852-0119
熱田消防署	671-0119	中川消防署	363-0119	港消防署	661-0119	南消防署	825-0119
守山消防署	791-0119	緑消防署	896-0119	名東消防署	703-0119	天白消防署	801-0119

家具転倒防止対策
「南海トラフ巨大地震
から命を守るために！」



家具転倒防止
ボランティア
の派遣



なごや
ハザードマップ
防災ガイドブック



備蓄品・非常持
出品の準備に
ついて



名古屋市
防災アプリ

